

# 一般質問



## 仙北市の観光について 環境問題について 防災体制について

藤原 万正

### 仙北市の観光について

**質問** 政府は、観光立国を合言葉に、二〇一〇年までに一千万人の訪日外国人旅行者を目指すビジョンを推進している。キャンペーンを推進している。

**市長** 仙北市でも観光産業を活かした「まちづくり」を目指しており、テンミリオン計画でも海外からの誘客に力を入れていく考えであるが、同キャンペーンの効果はどうか。受け入れ態勢、観光振興計画策定の進捗状況、経済効果についても合わせて伺いたい。

**市長** 仙北市の重点プロジェクトの中で、観光客を主体とした交流人口を六百万人台から一千万人に増やすテンミリオン計画を掲げている。

外国人観光客も確実に増えており、受け入れ態勢もいろいろ考えている。一例を挙げれば、外国人向けのモデルコースの策定。国別の案内板、ガイドブックの作成等。

観光振興計画は十三人のメンバーで具体的な施策の検討を含めた会

議が進んでいる。

観光の経済効果は平成十五年で観光消費額二百七十億円という数値が発表されている。

### 環境問題について

**質問** 物質的な豊かさや便利さを追求してきた結果、重大な環境問題に直面している。

当市の環境改善、環境浄化等の取り組みは。

**市長** 新しい取り組みとしてガラスの再生ということも含めたビンの分別収集を始



めざせテンミリオン

めた

**質問** 市民の環境に対する意識啓蒙、意識の高揚を図る取り組みと、ISO取得の考えについて伺いたい。

**市長** 市民の環境に対する意識は非常に高くなっていると思う。以前に比べてゴミのポイ捨て等は確実に減っている。

市民参加の中で地域の美化、資源の有効利用の意識向上に今後も努めていく。

ISO規定の精神を活かしながら環境について取り組み方法も合わせて検討していく。

### 防災体制について

**質問** 十八年度中に市の防災計画を作成することであったがどのようになっていくのか。

**市長** 計画については四月初めまでまとめあげることが、県が計画見直しのため国と協議中であり、協議終了後に最終的な判断がされる。

**質問** 緊急地震速報が本格実施されるが市の対応は。

**市長** 通報が早ければ、対応も早くなり被害は抑えられる。

反面、情報に対する備えが十分でなければバニックになる恐れもある。

広報等を通じて注意事項も含めたお知らせをしていく。

**質問** 備蓄の状況と今後の計画は。

**市長** 県と定めた基準で計算すると市の備蓄は四百人分であるが、実質七百三十人分ある。おもに毛布、タオルだが、食料は更新していく。

有事のときに食料品等を供給していただけの店との協定も近々結ぶ。さらに、新庄市、高萩市、常陸太田市、秋田市との防災協定や相互支援の体制は進めている。

### 子供の安全について

**質問** 各学校の危機管理マニュアルの作成、通学マップは作成されているのか。また、教職員の危機管理の研修、訓練はどうなっているのか。

**教員** 学校の置かれている環境も踏まえ各学校でマニュアル、マップを作成している。

職員研修は警察官OBの方にスクールガードリーダーになつていただき研修している。